

令和6年度「人権教育研究指定校事業」指定校事業報告書

委託先（ 鳥取県 ）

1. 調査研究のテーマ、概要

調査研究のテーマ	人権教育を通じて育てたい資質・能力の育成
----------	----------------------

○調査研究のテーマを設定した目的

人権教育の一層の充実が求められているという現状、また、学校教育において、いかに人権教育の目標を達成するかを考えたとき、人権教育を通して育てたい資質・能力をバランスよく育てることは喫緊の課題である。

本県では、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」や「鳥取県人権教育基本方針―第3次改訂―」に基づき、年度ごとに学校教育における人権教育推進のための重点を定め、市町村（学校組合）教育委員会や各学校と連携しながら人権教育を推進し、全県的に一体感のある取組となるよう努めている。

とりわけ、人権教育を通して育てたい資質・能力については、県内すべての学校で「人権教育全体計画」の中に明確に位置づけ、学校としての組織的な取組を推進する体制が整えられている。しかし、それだけでは十分でなく、児童生徒に対する資質・能力の効果的な育成につながる取組の充実を図る必要がある。

そのためには、参加型をはじめとした指導方法の工夫を含め、各教科等と人権教育との関連を図る視点が欠かせない。また、「人権教育・啓発に関する基本計画」でも指摘されているように、普遍的な視点と個別的な視点の往還も大切であると考え。これらの視点を中心に、研究指定校における人権教育の取組の充実を図り、普及に努めることで、各学校の児童生徒の「生きる力」を育む基盤としての人権教育推進につなげていきたい。

○調査研究の概要

- ・児童生徒の発達段階に応じた効果的な学習教材の選定・開発を行い、「育てたい資質・能力」の育成を図る。
- ・普遍的な視点と個別的な視点の往還を意識し、児童生徒が多面的・多角的に考え、主体的に学習に参加することができる授業づくりを行う

2. 基本情報

研究指定校の概要

○学校名

米子市立大篠津小学校

○これまでの研究指定等の状況

特記事項なし

○学級数

9学級（うち特別支援学級：3学級）

○児童生徒数

全児童数：95人（令和7年1月1日）

○URL

<https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/osinozu-e>

○指定理由

研究指定校では、「心豊かに 自ら学び 共に励み高め合う」子どもの育成を図るため、令和5年度より、「自己を見つめ、気づき、感じ、行動しながら、よりよい生き方を求める子どもの育成」の研究を進めている。「心を見がく道徳科」に向けての授業改善と「心を育てつなぐ特別活動」の推進を研究の柱に据え、取り組みを実践してきた。実践にあたっては、安心して自分の思いや願いを表現することができる学級づくりを基盤とし、45分の道徳科の授業の中で、自己を見つめ、友だちと考えを交流しながら、物事を多面的・多角的に考える力がつくよう授業改善を行うようにしている。また、児童会活動や行事などの活動で、「協力」「思いやり」「助け合い」など、仲間と共に協力して課題を解決し、子ども同士が心をつなぐことができる活動を行っている。物事の見方や考え方を広げ、感じる心を育てるため、週1回、教師から子どもたちの心を揺さぶり、豊かにしていくような話をする「ハートフルタイム」や、学級生活の中の課題を解決するためのミーティングとその中で出された関わり合いに関する課題を改善するための活動に取り組む「ハッピーミーティング」を行い、児童の心を耕し主体性を育み、自治力を向上させている。

研究指定校を含む美保中学校区は、令和6年度に米子市中学校区人権教育研究発表会の開催を予定しており、中学校区の研究組織を立ち上げて研究を推進しているところである。この研究を始めるにあたり、校区の児童生徒の「自己肯定感、自尊感情、他者受容」等について実態を把握するために自作アンケート（ハートフルアンケート）を実施した。これにより、校区全体の課題として、自己肯定感の低さと、アウトプット力の育成の必要性が見える結果となった。

美保中校区研究主題を「関わり合い、認め合い、共に創る子どもの育成」と設定し、就学前部会、学校教育部会、PTA部会が三位一体となって人権教育を推進していくこととした。

研究指定校においては、「自己肯定感とアウトプット力の育成」を研究の柱に据え、人

権教育研究主題を「自己有用感を高め、豊かな人間関係を構築する」と定め、その実現に向けて「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」に示された「人権尊重の視点に立った学校づくり」を参考に「学力向上部会」「心の教育 生徒指導部会」「健康教育部会」「特別支援教育部会」「人権教育部会」を立ち上げている。それぞれの部会が連携を図りながら研究を進めており、研究指定校としてふさわしいと判断した。

3. 取り組んだ人権課題について

取り組んだ人権課題（該当するものに○印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題1つに◎をつけること。）※人権教育研究推進事業公募要領（別紙）「2. 事業の内容」を必ず確認すること。

① 子供	○
② 女性	
③ 高齢者	○
④ 障害者	○
⑤ <u>同和問題</u>	◎
⑥ <u>アイヌの人々</u>	
⑦ <u>外国人</u>	
⑧-1 HIV感染者等	
⑧-2 <u>ハンセン病患者等</u>	
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	○
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	
⑭ その他（ ）	

4. 調査研究の内容等

○調査研究の内容

令和4年度全国学力・学習状況調査では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する肯定的回答は100%、また「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」79%、「友達と協力するのは楽しいと思いますか」94.8%と全国に対してわずかではあるが上回った回答であった。一方、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「将来の夢や目標をもっていますか」という質問に対しては、下回っている。人権に関する知識は身につけているが、自己についての肯定的態度、コミュニケーション等の人権感覚については十分育っていないと考えられる。

校区で自作した人権アンケート調査を実施した。下学年は肯定的な回答が多いが、学年が進むにつれ下降傾向にある。特に本校では、「自分が人の役に立っている」という認識、いわゆる自己有用感に課題が見られる。また、前述の通り本校区では、自己肯定感の低さ、アウトプットする力の育成の必要性という課題が見られる。校区人権課題の根幹を「自尊感情・自己肯定感」とし、話し合い活動や授業、学校生活でのかかわり合いやその生活基盤となる環境づくり、また、あらゆる場面において自己有用感を体験させることで自尊感情・自己肯定感を育てることを共通理解している。

そこで、人権教育研究主題を「自己肯定感を高め 自他の人権を大切にすることの育成」とした。

授業では個別の人権課題を設定するものや仲間づくりの視点を取り入れたものなどがあるが、どの教科・領域でも人権教育の目的を達成するための取り組みを実践したい。そのため、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」に示された内容をもとにして実現を目指すこととする。本研究では、その対象としての要素を次のように考える。研究に関する部分だけを抜き出すと、

- a. 「人権教育の成立基盤となる教育・学習環境」
- b. 「人権感覚の育成に関わる指導内容」
- c. 「児童生徒が自らの学習について評価すること」(以上3点〔第三次とりまとめ〕)

に分けられる。これらの3つの視点について、以下の様に研究仮説を立て、主題にせまることとした。

①<研究仮説1> 「人権教育の成立基盤となる教育・学習環境」についての視点

学級の力を高める活動を取り入れ、基盤となる人間関係や全体としての雰囲気向上を意識させることで、「人権教育が効果を上げようためには、まず、その教育・学習の場自体において、人権尊重が徹底し、人権尊重の精神がみなぎっている環境であることが求められる。」(〔第三次とりまとめ〕)に定める、自他のよさを認め合い、互いを大切にして関わり合おうとする豊かな人間関係を築くことができるだろう。

②<研究仮説2> 「人権感覚の育成に関わる指導内容」についての視点

「人権感覚を育成するには、「価値的・態度的側面」や「技能的側面」に属する諸要素としての価値や態度、諸技能を身に付けさせることが必要である。〔…〕特に、共感的に理解する力やコミュニケーション能力、自他の人間関係を調整する能力など、〔…〕それぞれの育成に取り組むことが重要である。」(〔第三次とりまとめ〕)とある。道徳科の授業を中心に、物事を多面的・多角的に考え、議論する学習指導を行うことにより、児童の人権感覚が高まるであろう。

③<研究仮説3> 「児童生徒が自らの学習について評価すること」についての視点

各教科・領域において「めあて」、「まとめ」はその学習内容・目標に依存するが、「振

り返り」は、それらも含め児童自身の学習への取り組み方による。振り返りの視点を明確にし、児童が自身の学習を振り返り、意欲・関心、達成感の状況を自覚することにより、自尊感情を育成することができるであろう。

○実施方法

①<研究の実際1>「人権教育の成立基盤となる教育・学習環境」

- ・学級力アンケート、学級レーダーチャートにより、学習の場である学級の人権が尊重された人間関係づくりや安心して、安全に学ぶことができる学習環境づくりに取り組んだ。
- ・月曜日の「ハッピーミーティング」「ハッピータイム」では、学級レーダーチャートの結果を見ながら、学級の課題について話し合い、課題解決のための実践を決め行動したり、学級の仲間づくりをねらいとした参加型のゲームを行ったりした。
- ・各学級では、帰りの会で「今日のキラリ」「よいことみつけ」を行い、友だちのよいところに目を向けさせるために取り組んだ。
- ・委員会活動では、「ありがとうの木」「よいところレディオ」などの取組を行い、家族や全校児童のよいところ見つけを行い、廊下掲示を行ったり給食時間に放送したりした。
- ・中学校区での取組として、学期に1度、ハートフルアンケートを行い、本校児童の意識についても調査した。

②<研究の実際2>「人権感覚の育成に関わる指導内容」

- ・児童の多様な考えを引き出すための発問の工夫、構造的な板書を中心に授業づくりに努めた。年間、各学級1回の研究授業（毎学期に1回、計3回）を行った。
- ・毎週水曜日朝の「ハートフルタイム」では、教師が用意した話を学級毎に行った。昨今、メディアの進歩により、ゲームやアニメに没頭している児童も少なくない中、自治的な話や教師の経験談、雑学等、多種多様な話をする事により、児童の心を豊かにすることを目的に行った。
- ・9月3日（火）に、坂田かおりさんをお招きして美保中学校区人権教育研修会を行った。研修会では、人権学習が価値観の刷り込みになるのではなく、児童の本音を受け入れる学習にするため、授業者の受容的な態度の重要性を学んだ。
- ・10月9日（水）には、元大阪教育大学教授・園田雅春先生に来校いただき、授業参観、研究協議会、講演会を行った。授業者自身が求める回答に固執せず、児童の意見やつぶやきを丁寧に聞き取り、補助発問をしながら児童の意見をつなぎ、深めることを意識した授業づくりに努めた。
- ・11月22日（金）には、中学校区4校を会場（本校舎）に米子市中学校区人権教育研究会を行った。その際、各学級の授業を公開した。その後、下学年部、上学年部、特別支援教育部の3部会に分かれ、研究協議会を行った。

③<研究の実際3>「児童生徒が自らの学習について評価すること」

- ・道徳の学習はもちろんだが、各教科の学習において「めあて」「まとめ」の整合性をとること、「振り返り」の質の充実を目指してきた。特に、振り返りについては、児童に振り返りの視点を与え、振り返りの質の向上をねらった。下学年から上学年へと発展的に向上するよう「振り返りの視点」を下学年、上学年別にした。
- ・授業の終わりに、振り返りの発表の場を設定し、友だちの振り返りに触れる機会とアウトプットする機会をつくった。

○検証・評価・改善・普及

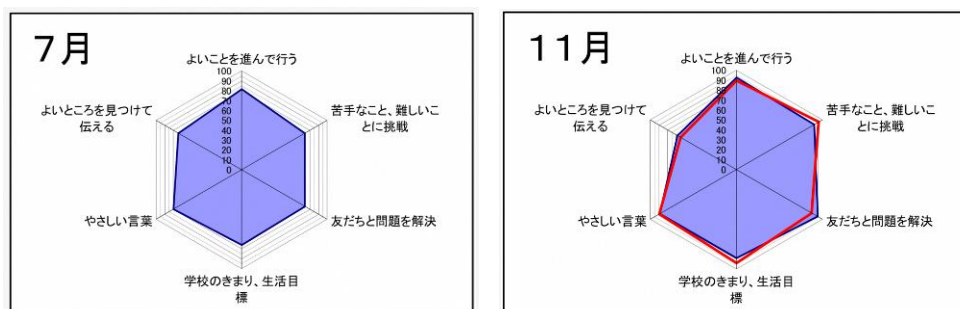
①<成果と課題1>

- ・ハートフルアンケートの結果の、本校の課題である項目について肯定的回答の変容（割

合)は、「自分が好きだ」という項目においては86%から94%に、「自分は誰かの役に立っていると感じられる」の項目では80%から85%に増加していた。一方、「好きなことや夢中になれることがある」の項目では90%から87%に、「自分は大切な存在だ」の項目では84%から80%に、「学習中、自分の考えを伝えている」の項目では84%から82%に、「友だちから大切にされているか」の項目では、94%から92%に減少していた。肯定的回答が増加したこともあるが、減少したこともあるので、今後の取組の再考が必要である。

- ・「ありがとうの木」「よいところレディオ」は、児童から好評で、3学期現在も継続して取り組んでいる。
- ・学級力アンケートをもとにした学級レーダーチャートから、「ハッピーミーティング」を行い、学級力向上に向けて、学級全員で決めた実践に取り組んだ結果、全ての学級で、学級力が向上した。下記のチャート図は、第5学年の7月と11月のチャート図である。7月に比べ、11月のチャート図が大きくなっている。ただし、「よいところを見つけて伝える」という項目については、7月よりも11月の方が少しへこんでいるので、よいことをアウトプットする取組を子どもたちと考え、これからも実践を積み上げていきたい。

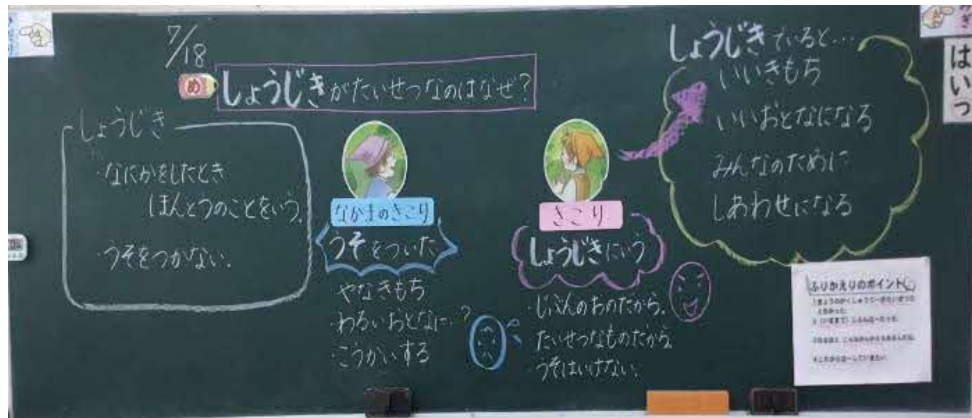
学級レーダーチャート（5年生）より



※赤枠は前月（10月）のチャート

②＜成果と課題2＞

- ・道徳科の研究では、構造的な板書づくりにおいて、研究授業を重ねる度に、「吹き出しの形」「線の形、太さ、色、向き」「文字の量、色、大きさ」「貼り絵」など、細かいところまで議論し合い、共通理解したものができあがった。その成果が、見てわかりやすく児童が思考を整理しやすい板書を創り上げた。



また、発問の工夫では、教材（題材）の内容を問うたり、登場人物の確認をしたりするなど、国語的な発問にならないように気を付けると同時に、児童の多様な考えを引き出すために、受容的に問い返しを行うことを意識した結果、模範解答的な意見のみではなく、児童の素直な思いや多様な意見を聞くことができるようになった。

- ・毎週水曜日朝の「ハートフルタイム」を行うにあたり、毎週、しっかりと用意し、児童に様々な話を行った。そのため、アンケートでは、およそ8割の児童が、「ハートフルタイム」の話を楽しみにしていると回答していた。理由を見てみると、「知らないことを知ることができてよかったから。」「物事を見る視点はたくさんあることに気付いたから」等の回答があった。児童の心の成長にとって、刺激にはなっているようである。これからは、学校の職員だけではなく、地域の方にも参加していただきたいと考えている。
- ・元大阪教育大学教授・園田先生に観ていただいた2年生の授業では、担任が児童のつぶやきを上手く拾って授業の中で活かしていると評価していただいた。また、児童の話の聞くときに、児童の目線の高さに自らの目線の高さに合わせて聞く姿勢を大絶賛していただいた。改めて、教員が指導を進める中で、授業中の児童のつぶやきや自らの目線の高さと心の姿勢の大切さを確認することができた。

③<成果と課題3>

- ・学習の振り返りでは、振り返りの視点「振り返りのポイント」を中・高学年、低学年別に用意して提示（下図参照）することで、振り返りの質が変わると同時に、学年を追う毎に書く内容も多くなってきた。
- ・振り返りに対して、担任がコメントをすることにより、児童は、自らの学びの振り返り

を意欲的に行い、アウトプットする児童の数も多くなってきた。

ふりかえりのポイント

- ・きょうのがくしゅうで～がたいせつだとわかった。
- ・(いままで) じぶんは～だった。
- ・なるほど、こんなかんがえもあるんだな。
- ・これからは～していきたい。

1・2年生のふりかえりのポイント

振り返りのポイント

- ・今日の学習で～が大切だと分かった。
- ・(今までは) 自分だったら～していた。
- ・なるほど、こんな考えもあるんだな。
- ・これからは～していきたい。
なぜならば

理由も書けたらいいね

③私はおばあちゃんといっしょにすんでいないけど、イラツク気持ちは少し分かります。でも家族はみんなで支え合ってできるものだからみんなにやさしくしたいです。

イラツクに共感しているのはよいこと!
そこからどうしたいか考えを深めていこう。

3年生から6年生までの振り返りのポイント

5. 人権教育にかかる年間計画

令和6年度 第1学年 人権教育年間指導計画							
米子市立大藤津小学校							
○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。							
月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ねらい	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	◎がっこうたんけんをしよう	生活	A 2 C 6	自分のまわりの人や設備などに関わり、自分たちの生活がたくさんの人々に支えられていることに気付く。	教科書等		
	とくべつしえんがっしゅうのともだちをしよう	学活	B 6 C 5 障がい者	特別支援学校について知り、お互いの個性を認め合いながら、温かい気持ちで接していこうとする態度を育てる。			
5	みんながつかうばしよでは「みんながつかうばしよだから」	道徳	A 2 C 2	約束やまじりを守り、みんなが気持ちよく安心して過ごせるようにするための判断力を育てる。 C規則の尊重	教科書等		
6	いいところをみつけよう	学活	A 3 C 5 子ども	自分や友だちのよさに気付き、お互いを大切にしながら仲よくしようとする態度を育てる。	帰りの会 ハッピーミーティング		
7	「おおきなかぶ」	国語	B 1 C 4	みんなで力を合わせると、小さな力も大きな力になることや困難なことでも乗り越えられることを知り、みんなで協力することの大切さを理解する。	教科書等 「おおきなかぶ」		
9	うちのおじいちゃん・おばあちゃん	学活	B 6 C 6 高齢者	生きがいを持って元気に働くお年寄りがいることを知り、みんなが共に生きていく社会であることを理解する。	七夕の会 昔あそびの会(2月)		
9	いきているっていいな 「いきているって」	道徳	A 3 B 6 健康や性	生きているからこそできるあたりまえのことを喜び、命を大切にしようとする心情を育てる。 B生命の尊さ	教科書等 「みんないきてる」		
10	◎ふわふわことば・ちくちくことばをしよう	学活	B 3 C 4 子ども	いやなことを言われた人の怒しみを理解し、温かい言葉をかけることの大切さに気付き、みんなで仲よくしようとする態度を育てる。	アンケート等		
10	◎あいてにしんせつに「はしのうえのおおかみ」	道徳	B 5 C 3 子ども	相手のことを思いやり、優しく接しようとする実践意欲と態度を育てる。 B親切思いやり	教科書等		
	よくないとおもったら「ぼんたとかんた」	道徳	B 6 C 4	よいことと悪いことを判断し、正しいと思ったことは勇気をもって行おうとする実践意欲と態度を育てる。 A善悪の判断、自律、自由と責任	教科書等		
12	ともだちのことをかかえて「二つのことり」	道徳	B 5 C 3 子ども	友達と仲よくし、助け合おうとする実感、意欲と態度を育てる。 B友情、信頼	教科書等		
1	おおきそだって「ちいさなふとん」	道徳	A 3 C 6	人が生まれることのすばらしさを感じ、命を大切にしようとする心情を育てる。 B生命の尊さ	教科書等		
2	きれいなからだ(性)	学活	B 6 C 2 健康や性	体や衣服を常に清潔に保たなければならないこと、またそのための具体的な方法について知り、その習慣を身につける。			
2	温かくやさしい言葉をつかおう	学活	B 3 C 4 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
2	さそいにのらない(性)	学活	A 3 B 6 健康や性	知らない人から話しかけられたり、誘われたりした時の心構えを理解させ、身の安全を守ることの基本を身につける。			
3	もうすぐ2年生 1年生をむかえよう	生活	A 2 C 7 子ども	新1年生に喜んでもらえるように、教室をきれいに掃除したり、飾ったり、メッセージをかいたりして、温かく1年生を迎えることができる。			

◎美保中校区共通教材 ①問和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 第2学年 人権教育年間指導計画

米子市立大蔵津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	2年生になって	学活	A2 B2 子ども	進級を喜び、仲よく学習する心構えを身につけ、担任とともに学級目標を作り上げる。			
	温かくやさしい言葉について	学活	B3 C4 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級について知り、お互いの個性を認め合いながら、温かい気持ちで接していこうとする態度を育てる。			
	すてきな学校「しょうかいします」	道徳	A2 C7	自分たちの学校のいいところはどんなところかについて考えさせ、学校や学級での生活を楽しくしようとする心構えを育てる。			
	◎してよいこと、いけないこと「角がついたかいじゅう」	道徳	B3 C4	してよいこと、してはいけないことを判断するのはどうして大切なのかについて考え、してよいことと悪いことをしっかりと区別できる判断力を育てる。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
6	気持ちのよいあいさつをしよう	学活	B6 C2	あいさつをかわすことは、お互いに気持ちがいいことを理解し、進んであいさつをしようとする態度を育てる。			
	友だちとなかよく「けんかをしたけど」	道徳	B5 C4 子ども	友達の気持ちを考え、仲よくし、助け合おうとする態度を育てる。 B 友情信頼			
6	男女なかよく	学活	A2 C5 男女共生	日常における男女の違いや行動の違いを知るとともに、男女互いに協力し、助け合うことの大切さを理解し、仲良くしようとする態度を育てる。	休憩中の写真		
	おじいさん・おばあさん大すき	学活	C6 高齢者	お年寄りについて知り、尊敬の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。	人権作文選集よなご「うれしかったこと」		

10	とむにいきる	学活	B3 C3 障がい者	子ども達の生活場面の中で、障がいがある人もそうでない人も、どうしたら一緒に活動できるかを考えることができる。			
	はたらくことのよさ「おてこのあせ」	道徳	A2 C1	働くことのよさを感じて、みんなのために働くこととする心構えを育てる。 C 勤労、公共の精神			
11	あいてを思いやって「くみの木と小鳥」	道徳	A2 C4 子ども	困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を養う。 B 親切、思いやり			
	生きていることのすこさ「ぼくのかさぶた」	道徳	A3	生命あるものの尊さを感じ、大切にしようとする心構えを育てる。 D 生命の尊さ			
12	◎すてきなぼく、わたし	学活	A2 B4 子ども	いいところ探しの活動を通して、自分や友達の良いところを見つけたり、友達が気づけた自分のよさを知ったりすることで、自己肯定感を養い、意欲的に生活しようとする態度を育てる。			
	やりぬいて「黒板がにっこりするかな」	道徳	B2 C4 子ども	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
2	◎おへそのひみつ	学活	A3 C6 健康	命に関わる大切な働きをする体のしくみを知り、自他の命を大切にしようとする態度を育てる。	実態に応じて		
	温かくやさしい言葉づかいについて	学活	B3 C4 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
	◎あしたへジャンプ	生活	B2 C5 子ども	友達や家の人、これまでに関わった人などの身近な人々に、大きくなった自分のことをインタビューしたり、伝え合ったりする活動を通して、自分や友達の嬉しい気持ちや他者への思いやりなど、内面的な成長に気付くことができるようにする。			
3	もうすぐ3年生	学活	A1 C6 子ども	1年間使った教室に感謝の気持ちを持ち、教室をきれいにしようとする心構えを育てる。	一年間使った掛け図(国・算)		
3	場面ごとに読もう「お手紙」	国語	A1 C4 子ども	友達のよさを感じ取り、友達を大切にしようとする心構えを育てる。			

◎関係中学校共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 第3学年 人権教育年間指導計画

米子市立大藤津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	3年生になって	学活	A1,2 B1 子ども	3年生として、よりよい学校生活が送れるよう、新たな決意をもつことができる。			
	楽しいクラスに「よろしくギフト」	道徳	B1 C1 子ども	クラスの友達に対してどんなことができるかを考えさせ、互いに思いやり、明るさや活気あふれる楽しいクラスづくりをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。 Cよりよい学校生活、集団生活の充実			
4	温かくやさしい言葉について	学活	B3 C A 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級について知り、お互いの個性を認め合う心情を培い、友達とともに自分も成長していこうとする態度を育てる。			
6	◎友だちとは「友だち屋」	道徳	B1 C1 子ども	本当の友達とは、どんな存在かを知り、純全で信頼し合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。 B友情、信頼			
	うれしい言葉いやな言葉	学活	A3 A6 子ども	言われたときの気持ちを考え、互いに気持ちよく生活できる言葉づかいについて考えることができる。	「命せのバケツ」(絵本)		
7	自然とともに「生きているなま」	道徳	D1 D2 子ども	生きている仲間とは、どんな仲間なのかについて考え、自分と同様に生命あるものを全てを大切にすることを育てる。 B生命の尊さ			
9	みんなのよさを大切にするために	学活	B6 C3 子ども	一人一人誰にでもよいところがあることに気づき、認め合い仲よくすることができる。			
10	家族みんなで「百六さい、おめでとう、ひいおばあちゃん」	道徳	A3 C6 家族	父母を敬い、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする態度を育てる。C家族愛、家庭生活の充実			

	◎テレビ・ゲームとわたしたち	学活	B7 C2 情報	テレビやゲームには、自分に悪い影響を与えるものがあることに気づき、役立つものと区別選択できる能力の基礎を養う。			
	こまっている人がいたら「みんながくらしやすい町」	道徳	A6 C4 子ども	みんなが暮らしやすい町にするために大切なことについて考え、相手の状況に配慮し、親切な行為を自ら進んで行おうという実践意欲と態度を育てる。B 親切・思いやり			
	よりよいくらしについて話し合おう「パラリンピックが目指すもの」	国語	A3 B3,5 障がい者	障がいのある人もない人も、よりよい暮らしができる社会にしようとする心情を育てる。	図書の本		
11	◎しやうがいつてなあと「心は通じ合うんだな」	学活	B3 C3 障がい者	どんな人でも、心が通じ合うことに気がつき、ともに生きるためには何が必要かを考えることができる。	人権作文集「よなご」		
12	公平な態度で「なおとからのしつもん」	道徳	B5 B6 友だち	不公平な態度が周囲に与える影響に対する理解を深め、誰にでも公平に接しようとする態度を育てる。 C 公平・公正・社会正義			
	他の国の人と仲よくなるために「マサラップ」	道徳	A6 B6 外国人	他国の人と仲よくなるために大切なことについて考えさせ、他国の文化に関心をもち、理解を深めさせ、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。 C 国際理解・国際親善			
1	いのちのはじまり	学活	A3 C6 健康や性	生命の誕生について科学的に理解させるとともに、自分が誕生したときの家族の喜びを理解し、生命や人格を大切にしようとする態度を育てる。	性教育資料		
	自分を見つめて「わたしらしさ」をのびすために	道徳	C4 C5 子ども	資料を通して、自分らしさを見つけ、それを伸ばそうとすることについて考えさせ、自分の特徴を多面的に捉え、自己を高めていこうとする実践意欲と態度を育てる。 A 個性の伸長			
2	温かくやさしい言葉づかいについて		B3 C A 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
2	命の不思議「ヌチヌチスージ」	道徳	A3 C3 こども	資料を通して、命にはどんな不思議があるのかについて考えさせ、受け継がれていく命を大切にしようとする心情を育てる。 B 生命の尊さ			
3	もうすぐ4年生	学活	A1 C7 子ども	自分の成長を振り返り、次の学年への希望と決意を抱くことができる。			

◎関係中学校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報

令和6年度 第4学年 人権教育年間指導計画

米子市立大蔵津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	4年生になって	学 活	A1 C7 子ども	4年生として、連続した喜びを味わい、よりよい学級を目指してみんなで協力しようとする意欲を持つ。			
4	温かくやさしい言葉について	学 活	B3 C4 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
4	①思いやりとは「思いやりって」	道 徳	B6 C5 共生	思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の気持ちを察して、遠慮して適切にしようとする判断力や心づかいを養う。 B 親切、思いやり			
5	住みよいくらしをささえる	社 会	B1 C6	人々のくらしを支える上で必要な飲用水やごみの処理などの事業は、役所を中心に計画的・協力的に行われていることや身の回りにいる様々な仕事をしている人の存在を知り、感謝の気持ちをもつ。			
5	特別支援学校の友だち	学 活	B6 C5 障がい者	特別支援学校の友だちのことを正しく理解することを通じ、お互いの個性を認め合う心づかい、温かい気持ちで接していこうとする態度を身につける。			
6	大切な命「生きていくしるし」	道 徳	A3	命の尊さを感じ取り、生命を大切にしようとする心づかいを養う。B 生命の尊さ			
6	心のシーソー(劇) ひとりぼっちの Yちゃん	道 徳		A (1) 善悪の判断・自律、自由と責任			
7	ゲーム・インターネットについて	学 活	B7 情報	メディアの正しい使い方や怖さを知り、ルールを守って利用できる。			
9	友だちを大切に「泣いたおに」	道 徳	B2 C4 子ども	友達と互いに信頼し、助け合い、悲喜し合って友情を深めていこうとする心づかいを養う。B 友情、信頼			
10	感想を伝え合おう「ごんぎつね」	国 語	B2 C1	善意と勇気でやることが結果として競争を激付けてしまう、また、死をもってしか心が通じない悲しさなどに気付かせることで、人と動物の心の結びつきについて理解を深め、豊かな心づかいを養う。			

11	あなたならどう言う？	学 活	B3 C3 子ども	何気ない言動が相手やいやな気持ちにさせ、心を傷つけていることを理解し、友だちに優しく接していこうとする態度を養う。			
11	◎家族のために「大事な家族だから」	道 徳	C6 高齢者	感謝の気持ちや反省の気持ちを態度で表そうとしている。	人権「よなご」		
12	ともに生きる「社会の中でいきいきと」	社 会	A4 C3 障がい者	障がいに対する差別や偏見に気づき、同じ人間として助け合って共に生きていこうとする態度を養う。	「A4C3」		
12	読書会を開こう「世界一美しいぼくの村」	国 語	A3 B1 子ども	主人公の「家族への愛」、「郷土への愛」などさまざまな愛の心を知ることによって、自分を見つめ、人間らしい生き方は何かを考えようとする態度を養う。			
12	分けへだてない行動「ちよっとまっぴよ」	道 徳	B3 C4 子ども	自分の持みを優先せず、誰に対しても公正、公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる B 公正、公平			
1	大切な友だちだから「絵はがきと切手」	道 徳	B2 C4 子ども	友達と互いに信頼し、助け合い、悲喜し合って友情を深めていこうとする心づかいを養う。 B 友情、信頼			
1	◎男女の心の中がいと協力(性)	学 活	A2 B6 男女共生	男女が協力し合ってよりよい生活を築こうとする意欲を高める。			
2	おかあさんのいいところ	道 徳	A6 C5 外国人	自国の文化と比べながら、他国の人や文化に関心をもとうとする心づかいを育てる。(C 国際理解 国際親善)	人権「よなご」		
2	温かくやさしい言葉づかいについて	学 活	B3 C4 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
3	もうすぐ5年生	学 活	A1 B5 子ども	1年間の生活や学習を振り返り、自身の成長の様子をとらえると同時に、連続するためのまごめをしっかりとしようとする態度を養う。			

◎美保中校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 第5学年 人権教育年間指導計画

米子市立大森津小学校

○自分や友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	5年生になって	学活	A1 C7 子ども	高学年としての自覚をもって、進んで行動するとともに、友だち同士互いに信頼し、学び合い支え合っていこうとする態度を育てる。			
	温かくやさしい言葉について	学活	B2 C2, 6 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
	受けつがれる生命	理科	A3 健康や性	身近な場所でのいろいろな生命が誕生していることに気づき、生命が受け継がれていくように興味・関心をもつことができるようにする。			
5	友だちを思う心「友のしようぞう画」	道徳	C3 C5 子ども	互いに信頼して友情を深め、仲よく協力し助け合おうとする心情を育てる。 ⑧友情、信頼			
	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級の友だちのことを正しく理解することを通して、お互いの個性を認め合う心情を培い、温かい気持ちで接していこうとする態度を身につける。			
6	①インターネット・ゲーム・SNSのルール	学活	B7 情報	インターネット・ゲーム・SNSの危険性を知るとともに、相手を大切に正しい使い方ができるようにする。	サポート少年センター「情報モラル教室」		
	親切とは「道案内」	道徳	C3 高齢者	困っている人への思いやりの心をもち、相手の立場に立って温かく接しようとする態度を育てる。 ⑧親切思いやり			
	②命の大切さ「命の詩」	道徳	A3	生命がかげがえのないことを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。 ⑧生命の尊さ			

7	③ことばの重さ	学活	B3 C3 障がい者	言葉「ガイジ」の問題について考え、障がい者に対して偏見を持たず共に生きようとする態度と実践力を養う。	人権作文集「よなご」指導資料集27「ガイジ」って何		
9	自分もつ人種とは「私たちの生活をみつめよう」	学活	A4 B6 子ども	子どもの権利条約に込められた意味を知り、自分の人権と他人の人権も共に守っていこうとする気持ちをもつ。	「子どもの権利条約ハンドブック」「子どもの権利条約 絵事典」		
	ケンタの役割	道徳	B4 子ども	集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に向けての判断力を育てる。〔よりよい学校生活、集団生活の充実〕			
10	人を傷つける言葉	学活	B2 C2, 6 子ども	何気ない言葉でも人を傷つけてしまうことに気づき、相手の立場になって正しい言葉遣いができるようにする。			
	いこいの広場	道徳	C4 子ども	自由に伴う責任の大きさや、自分の行動が周囲に与える影響をよく考えたくて行動しようとする判断力を育てる。A 善悪の判断、自律、自由と責任			
11	④分かり合うために「プランクネリとビエロ」	道徳	C5 子ども	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。⑧相互理解 寛容			
12	他国の人々を理解して「小さな国際親善大使」	道徳	A6 C5 外国人	他国の人々や異文化の中に、自分と共有される多くの完成や思いがあることに気づき、国際親善に努めようとする心情を育てる。⑧国際理解 国際親善			
2	心と健康	保健	B6 C4 健康や性	人間の心の発達や心と体のつながりについて初歩的な理解をし、不安や悩みに対処する方法を理解する。	スクールカウンセラーとの連携		
	温かくやさしい言葉づかいについて	学活	B3 C2, 6 子ども	学級カンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級カンケート		
3	もうすぐ6年生	学活	A1 C6 子ども	5年生での生活を反省し、最高学年への希望や目標を話し合い、6年生への意欲付けをする。			

◎美保中校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 かがやき学級 第2学年 人権教育年間指導計画

米子市立大福津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	2年生になって	学活	A2 B2 子ども	友達を喜び、仲よく学習する心構えを身につけ、担任とともに学級目標を作り上げる。			
4	温かくやさしい言葉について	学活	B3 C4 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	それぞれの特別支援学級の様子を紹介し合い、お互いのよさや頑張りを認め合いながら、温かい気持ちで接していこうとする態度を育てる。			
	◎してよいこと、いけないこと「角がついたかいじゅう」	道徳	B3 C4	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする心構えを育てる。 A 善悪の判断、自立、自由と責任			
	気持ちのよいあいさつをしよう	学活	B6 C2	あいさつをかわすことは、お互いに気持ちがいいことを理解し、進んであいさつをしようとする態度を育てる。			
6	友だちとなかよく「ぶらんこ」	道徳	B5 C4 子ども	友達のことを考え、仲よくし、助け合おうとする態度を育てる。 B 友情信頼			
	男女なかよく	学活	A2 C5 男女共生	日常における男女の遊びや行動の違いを知るとともに、男女互いに協力し、助け合うことの大切さを理解し、仲良くしようとする態度を育てる。	休憩中の写真		
	ともにいきる	学活	B3 C3 障がい者	子ども達の生活場面の中で、障がいがある人もそうでない人も、どうしたら一緒に活動できるかを考えることができる。			

9	おじいさん・おばあさん大すき	学活	C6 高齢者	お年寄りについて知り、尊敬の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。	人権作文課題よなご「うれしかったこと」		
10	あいてを思いやって「ぐみの木と小鳥」	道徳	A2 C4 子ども	困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を養う。 B 親切、思いやり			
	やりぬいて「黒板がにっこりするかな」	道徳	B2 C4 子ども	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
11	つながるいのち「生まれるということ」	道徳	A3	生命あるものの尊さを感じ、大切にしようとする心構えを育てる。 B 生命の尊さ			
12	場面ごとに読もう「お手紙」	国語	A1 C4 子ども	友達へのよさを感じ取り、友達を大切にしようとする心構えを育てる。			
	◎すてきなぼく、わたし	学活	A2 B4 子ども	いどころ探しの活動を通して、友達へのよさを見つけたら、友達が見つけた自分のよさを知ったりすることで、自己肯定感を養い、意欲的に生活しようとする態度を育てる。			
1	◎おへそのひみつ男の子・女の子	学活	A3 C6 健康	命に関わる大切な働きをする体のしくみを知り、自他の命を大切にしようとする態度を育てる。	実際に応じて		
2	みんなのために「びかびかがかり」	道徳	A2 C1	働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする心構えを育てる。 C 勤労、公共の精神			
2	温かくやさしい言葉づかいについて		B3 C4 子ども	学級カンファレンスを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級カンファレンス		
	◎あしたへジャンプ	生活	B2 C5 子ども	友達や家の人、これまでに関わった人などの身近な人々に、大きくなった自分のことをインタビューしたり、伝え合ったりする活動を通して、自分や友達の、優しい気持ちや他者への思いやりなど、内面的な成長に気付くことができるようにする。			
3	もうすぐ3年生	学活	A1 C6 子ども	1年間使った教室に感謝の気持ちを持ち、教室をきれいにしようとする心構えを育てる。	一年間使った掛け図(園・算)		

◎異採中校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報

令和6年度 かがやき学級 第3学年 人権教育年間指導計画

米子市立大藤津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	3年生になって	学活	A1, 2 B1 子ども	3年生として、よりよい学校生活が送れるよう、新たな決意をもつことができる。			
	うれしい言葉いやな言葉	学活	A3 A6 子ども	言われたときの気持ちを考え、互いに気持ちよく生活できる言葉づかいについて考えることができる。	「命せのバケツ」(絵本)		
	楽しいクラスに「よろしくギフト」	道徳	B1 C1 子ども	クラスの友達に対してどんなことができるかを考えさせ、互いに思いやり、明るさや活気あふれる楽しいクラスづくりをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。 Cよりよい学校生活、集団生活の充実			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級の友だちのことを正しく理解することを通して、お互いの個性を認め合う心情を培い、温かい気持ちで接していこうとする態度を身につける。			
6	◎友だちとは「友だち履」	道徳	B1 C1 子ども	資料を通して、本音の友達とは、どんな存在かを知り、健全で信頼し合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。 B 友情、信頼			
	やさしさとは「持ってあげる？ 食べてあげる？」	道徳	B2 C4 子ども	資料を通して、優しい人とはどんな人かについて考えさせ、相手の状況を探えて、親切な行為を行うおとす判断力や心情を育てる。 B 親切、思いやり			
7	自然とともに「生きているなかま」	道徳	D1 D2 子ども	生きている仲間とは、どんな仲間なのかについて考え、自分と同様に生命あるもの全てを大切にすることを育てる。 D 生命の尊さ			
9	みんなのよさを大切にするために	学活	B6 C3 子ども	一人一人誰にでもよいところがあることに気づき、認め合い仲よくすることができる。			
10	◎テレビ・ゲームとわたしたち	学活	B7 C2 情報	テレビやゲームには、自分に悪い影響を与えるものがあることに気づき、役立つものと区別選択できる能力の基礎を養う。			

10	パラリンピックについて調べよう「パラリンピックが目指すもの」	国語	A3 B3, 5 障がい者	パラリンピックが目指すものを知り、障がいのある人もない人もよりよい暮らしができる社会にしようとする心情を育てる。	国書の本		
11	◎しょうががいつになあに「心は通じ合うんだな」	学活	B3 C3 障がい者	どんな人でも、心が通じ合うことに気が付き、ともに生きるためには何が必要かを考えることができる。	人権作文集「よなご」		
	公平な態度で「なおとからのしつもん」	道徳	B5 B6 友だち	資料を通して、不公平な態度が周囲に与える影響に対する理解を深め、誰にでも公平に接しようとする態度を育てる。 C 公平・公正・社会正義			
12	他の国の人と仲よくなるために「マサラップ」	道徳	A6 B6 外国人	資料を通して、他国の人と仲よくなるために大切なことについて考えさせ、他国の文化に関心をもち、理解を深めさせ、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。 C 異文化理解・国際親善			
1	いのちのはじまり	学活	A3 C6 健康や性	生命の誕生について科学的に理解させるとともに、自分が誕生したときの家族の喜びを理解し、生命や人格を大切にしようとする態度を育てる。	性教育資料		
2	よいと思ったことは「よわおし太郎」	道徳	B6 C4 子ども	資料を通して、よいと思ったことを行うときに大切なことについて考えさせ、正しいと信じていることを行い、正しくないかと判断したことを止めようとする心情を育てる。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
	命の不思議「ヌチヌグスージ」	道徳	A3 C3 子ども	資料を通して、命にはどんな不思議があるのかについて考えさせ、受け継がれていく命を大切にしようとする心情を育てる。 D 生命の尊さ			
3	もうすぐ4年生	学活	A1 C7 子ども	自分の成長を振り返り、次の学年への希望と決意を抱くことができる。			

◎美保中学校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 かがやき学級 第5学年 人権教育年間指導計画

米子市立大福津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	5年生になって	学活	A1 C7 子ども	高学年としての自覚をもって、進んで行動するとともに、友だち同士互いに信頼し、学び合い支え合っていこうとする態度を育てる。			
	温かくやさしい言葉について	学活	B2 C2、6 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
	受けつがれる生命	理科	A3 健康や性	身近な場所にいるいろいろな生命が誕生していることに気づき、生命が受け継がれていくように興味・関心をもつことができるようにする。			
5	友だちを思う心「友のしょうぞう画」	道徳	C3 C5 子ども	互いに信頼して友情を深め、仲よく協力し助け合おうとする心情を育てる。 B友情、信頼			
	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級の友だちのことを正しく理解することを通して、お互いの個性を認め合う心情を培い、温かい気持ちで接していこうとする態度を身につける。			
6	①インターネット・ゲーム・SNSのルール	学活	B7 情報	インターネット・ゲーム・SNSの危険性を知るとともに、相手を大切に正しい使い方ができるようにする。	サポート少年センター「情報モラル教室」		
	親切とは「道案内」	道徳	C3 高齢者	困っている人への思いやりの心をもち、相手の立場に立って温かく接しようとする態度を育てる。 B親切思いやり			
	②命の大切さ「命の詩」～電池が切れるまで～	道徳	A3	生命がかげがえのないことを知り、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。 D生命の尊さ			
9	③ことばの重さ	学活	B3 C3 障がい者	言葉「ガイジ」の問題について考え、障がい者に対して偏見を持たず共に生きようとする態度と実践力を養う。	人権作文集「よなご」指導資料第27「ガイジ」って何		

9	自分もつ人権とは「私たちの生活をみつめよう」	学活	A4 B6 子ども	子どもの権利条約に込められた意味を知り、自分の人権と他人の人権も共に守っていこうとする気持ちをもつ。	「子どもの権利条約ハンドブック」「子どもの権利条約 絵事典」		
	集団の中での役割「健太の役割」	道徳	B4 子ども	集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実に努めるための判断力を育てる。 Cよりよい学校生活、集団生活の充実			
10	人を傷つける言葉	学活	B2 C2、6 子ども	何気ない言葉でも人を傷つけてしまうことに気づき、相手の立場になって正しい言葉遣いができるようにする。			
11	公正公平な社会を目指して「誰もが幸せになれる社会を」	道徳	C4 子ども	差別や偏見をもたず、公正、公平な態度で正義の実現に努めようとする実践意欲を育てる。 C公正公平、社会正義			
11	④分かち合うために「プランク集りとピエロ」	道徳	C5 子ども	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに謙虚な心もち、応いに応じて自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。 B相互理解 寛容			
12	家族のために「祖母のりんご」	道徳	C5 高齢者	家族とはどんなものかを考えさせ、家族を敬愛し、家族のために自分にできることをしようとする心情を育てる。 C家族愛、家庭生活の充実			
12	他國の人々を理解して「小さな国際親善大使」	道徳	A6 C5 外国人	他國の人々や異文化の中に、自分と共有される多くの完成や思いがあることに気づき、国際親善に努めようとする心情を育てる。 C国際理解 国際親善			
2	精いっぱい生きる「最後のコンサート～チューロ奏者団 永業一団」	道徳	B6 C4 健康や性	「精いっぱい生きる」とはどういうことかを考えさせ、かけがえのない生命を大切に生きようとする心情を育てる。 D生命の尊さ			
2	心と健康	保健	B6 C4 健康や性	人間の心の発達や心と体のつながりについて初歩的な理解をし、不安や悩みに対処する方法を理解する。	スクールカウンセラーとの連携		
	温かくやさしい言葉づかいについて	学活	B3 C2、6 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
3	もうすぐ6年生	学活	A1 C6 子ども	5年生での生活を反省し、最高学年への希望や目標を話し合い、6年生への意欲付けをする。			

◎呉保中校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 はばたき学級 第2学年 人権教育年間指導計画

米子市立大藤津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ねらい	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	2年生になって	学活	A2 B2 子ども	進級を喜び、仲よく学習する心構えを身につけ、担任とともに学級目標を作り上げる。			
4	温かくやさしい言葉について	学活	B3 C4 子ども	温かくやさしい言葉づかいの大切さについて考え、実践していこうとする態度を育てる。			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	特別支援学級について知り、お互いの個性を認め合いながら、温かい気持ちで接していこうとする態度を育てる。			
	すてきな学校「しょうかいします」	道徳	A2 C7	自分たちの学校のいいところはどこかについて考えさせ、学校や学級での生活を楽しくしようとする心情を育てる。			
6	◎してよいこと、いけないこと「角がついたかいじゅう」	道徳	B3 C4	してよいこと、してはいけないことを判断するのほどうして大切なのかについて考え、してよいこと悪いことをしっかりと区別できる判断力を育てる。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
	気持ちのよいあいさつをしよう	学活	B6 C2	あいさつをかわすことは、お互いに気持ちがいいことを理解し、進んであいさつをしようとする態度を育てる。			
6	友だちとなかよく「ぶらんこ」	道徳	B5 C4 子ども	友達の気持ちを考え、仲よくし、助け合おうとする態度を育てる。 B 友情信頼			
9	男女なかよく	学活	A2 C5 男女共生	日常における男女の遊びや行動の違いを知るとともに、男女互いに協力し、助け合うことの大切さを理解し、仲良くしようとする態度を育てる。	休憩中の写真		
	ともにいきる	学活	B3 C3 障がい者	子ども達の生活場面の中で、障がいがある人もそうでない人も、どうしたら一緒に活動できるかを考えることができる。			

9	おじいさん・おばあさん大好き	学活	C6 高齢者	お年寄りについて知り、尊敬の気持ちをもって接しようとする態度を育てる。	人権作文課題よなご「うれしかったこと」		
10	あいてを思いやって「ぐみの木と小鳥」	道徳	A2 C4 子ども	困っている人や弱い立場の人を思いやり、温かい心で接し、進んで親切にしようとする態度を養う。 B 親切、思いやり			
	やりぬいて「黒板がにっこりするかな」	道徳	B2 C4 子ども	よいこと悪いことの違いをし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。 A 善悪の判断、自律、自由と責任			
11	つながるいのち「生まれるということ」	道徳	A3	生命あるものの尊さを感じ、大切にしようとする心情を育てる。 B 生命の尊さ			
12	場面ごとに読もう「お手紙」	国語	A1 C4 子ども	友達のをよさを感じ取り、友達を大切にしようとする心情を育てる。			
	◎すてきなぼく、わたし	学活	A2 B4 子ども	いいところ探しの活動を通して、自分や友達のをよさを見つけたら、友達が見つけた自分のよさを知ったりすることで、自己肯定感を養い、意欲的に生活しようとする態度を育てる。			
1	◎おへそのひみつ男の子・女の子	学活	A3 C6 健康	命に関わる大切な働きをする体のしくみを知り、自他の命を大切にしようとする態度を育てる。	実際に応じて		
2	みんなのために「びかびかがかり」	道徳	A2 C1	働くことのよさを感じて、みんなのために働くこととする心情を育てる。 【勤労、公共の精神】			
2	温かくやさしい言葉づかいについて	学活	B3 C4 子ども	学級力アンケートを通して、自分たちの言葉づかいについて振り返り、言葉の大切さを意識して、来年度への実践意欲を高める。	学級力アンケート		
3	◎あしたへジャンプ	生活	B2 C5 子ども	友達や家の人、これまでに関わった人などの身近な人々に、大きくなった自分のことをインタビューしたり、伝え合ったりする活動を通して、自分や友達の、優しい気持ちや他者への思いやりなど、内面的な成長に気付くことができるようにする。			
3	もうすぐ3年生	学活	A1 C6 子ども	1年間使った教室に感謝の気持ちを持ち、教室をきれいにしようとする心情を育てる。	一年間使った掛け図(画・書)		

◎美保中校区共通教材 ①向和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

令和6年度 はばたき学級 第3学年 人権教育年間指導計画

米子市立大福津小学校

○自分や友だちのよいところに気づき、友だちを大切にしていこうとする態度を育てる。

月	主題名・題材名等	教科等	資質・能力等	ね ら い	資料等	実施日	児童の様子や振り返り
4	3年生になって	学活	A1, 2 B1 子ども	3年生として、よりよい学校生活が送れるよう、新たな決意をもつことができる。			
	うれしい言葉いや言葉	学活	A3 A6 子ども	言われたときの気持ちを考え、互いに気持ちよく生活できる言葉づかいについて考えることができる。	「命せのバケツ」(絵本)		
	楽しいクラスに「よろしくギフト」	道徳	B1 C1 子ども	クラスの友達に対してどんなことができるかを考えさせ、互いに思いやり、明るさや活気あふれる楽しいクラスづくりをしていこうとする実践意欲と態度を育てる。 【よりよい学校生活、集団生活の充実】			
5	特別支援学級の友だち	学活	B6 C5 障がい者	それぞれの特別支援学級の様子を紹介し合い、お互いのよさや強さを認め合いながら、温かい気持ちで接していこうとする態度を育てる。			
6	◎友だちとは「友だち屋」	道徳	B1 C1 子ども	資料を通して、本当の友達とは、どんな存在かを知り、健全で信頼し合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。 B 友情, 信頼			
	持つてあげる？ 食べてあげる？	道徳	B2 C4 子ども	資料を通して、優しい人とはどんな人かについて考えさせ、相手の状況を探えて、親切な行為を行うおとする判断力や心情を育てる。 B 親切, 思いやり			
7	自然とともに「生きているなま」	道徳	D1 D2 子ども	生きている仲間とは、どんな仲間なのかについて考え、自分と同様に生命あるもの全てを大切にすることを育てる。 B 生命の尊さ			
9	みんなのよさを大切にするために	学活	B6 C3 子ども	一人一人誰にでもよいところがあることに気づき、認め合い仲よくすることができる。			
10	◎テレビ・ゲームとわたしたち	学活	B7 C2 情報	テレビやゲームには、自分に悪い影響を与えるものがあることに気づき、役立つものと区別選択できる能力の基礎を養う。			

10	パラリンピックについて調べよう「パラリンピックが目指すもの」	国語	A3 B3, 5 障がい者	パラリンピックが目指すものを知り、障がいのある人もない人もよりよい暮らしができる社会にしようとする心情を育てる。	国書の本		
11	◎しょうががいてなまに「心は通じ合うんだな」	学活	B3 C3 障がい者	どんな人でも、心が通じ合うことに気がつき、ともに生きるためには何が必要かを考えることができる。	人権作文集「よなご」		
	公平な態度で「なごからのしつもん」	道徳	B5 B6 友だち	資料を通して、不公平な態度が周囲に与える影響に対する理解を深め、誰にでも公平に接しようとする態度を育てる。 C 公平・公正・社会正義			
12	他の国の人と仲よくするために「マサラップ」	道徳	A6 B6 外国人	資料を通して、他国の人と仲よくなるために大切なことについて考えさせ、他国の文化に関心をもち、理解を深めさせ、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。 【異文化理解・国際親善】			
1	いのちのはじまり	学活	A3 C6 健康や性	生命の誕生について科学的に理解させるとともに、自分が誕生したときの家族の喜びを理解し、生命や人格を大切にしようとする態度を育てる。	性教育資料		
2	よいと思ったことは「よわおし太郎」	道徳	B6 C4 子ども	資料を通して、よいと思ったことを行うときに大切なことについて考えさせ、正しいと信じていることを行い、正しくないかと判断したことを止めようとする心情を育てる。 A 善悪の判断, 自律, 自由と責任			
	命の不思議「ヌチヌチスグージ」	道徳	A3 C3 子ども	資料を通して、命にはどんな不思議があるのかについて考えさせ、受け継がれていく命を大切にしようとする心情を育てる。 B 生命の尊さ			
3	もうすぐ4年生	学活	A1 C7 子ども	自分の成長を振り返り、次の学年への希望と決意を抱くことができる。			

◎奥保中校区共通教材 ①同和問題 ②外国人 ③障がい者 ④男女共生 ⑤子ども ⑥高齢者 ⑦健康や性 ⑧情報 ⑨その他の課題

